

学校事始（いとはじめ） — 明治期の上吉影・下吉影・野田の小学校を例に —



野田分教場 校舎



「学制」(一部)
出典:文部科学省ホームページ

学制

現代の学校教育のルーツは、今から約150年前の明治5年(1872年)に遡ります。この年、我が国最初の近代教育制度である「学制」が公布されました。「学制」には、学区制を採り小学校が設置することが記されています。また、その序文に当たって「学事奨励に関する被仰出書」には「必ず邑に不学の戸なく」といった記述があり、男女ともに教育を受けなければならぬ、と求めています。江戸時代の寺子屋と異なり、全ての子どもに教育を受けさせる、と掲げたことが画期的でした。

学校への寄附

「学制」では就学と小学校設立を掲げた一方、学校設置とその運営費は学区負担を原則としました。地域の学舎である小学校を維持していくため、学区の村々では寄附金を集める取り組みが行われました。

「日新小学校寄附金之義願」(明治7年・小川資料館蔵)は、小学校

への寄附金拾円を当時の茨城県知事に願い出た文書です。世楽村戸長や上吉影村副戸長ら数名が名を連ねています。日新小学校は明治7年(1874年)、現在の茨城町下雨ヶ谷にあつた寺院を学校と定めた、上吉影小学校の前身にあたる小学校です。この年は学区である上吉影・佐才の村民からも、小学校維持のため寄附金が集められています。



日新小学校寄附金之義願
(小川資料館蔵)

明治時代の校舎

明治9年(1876年)に制定された「茨城県小学通則」は、西洋式の校舎を建築することを奨励しています。しかし当時の小学校は、寺院の一室や民家を間借りして授業を行うことがほとんどでした。

10年に下吉影村の修善院に開校した下吉影小学校は、15年(1882

年)に移転するまでの間、本堂で授業が行われました。

一方、現在の野田小学校にあたる学校は、26年(1893年)に川戸にあつたかつての分教場を借用して、小川高等小学校野田分教場として誕生しました。翌年には現在の校地に小川尋常小学校の古校舎2棟を移築して、野田尋常小学校となりました。このうちの1棟は、旧小川郷校の建物だったそうです。また、この時移築された校舎は昭和31年(1956年)に新校舎ができるまで、県内唯一の茅葺きの校舎でした。

今回紹介した3つの小学校は、惜しまれながら令和4年に閉校しました。学校は無くなりましたが、学校の思い出や想いが色あせることはありません。(小川図書館 資料館 和久法子)

参考展

子どもたちを育んだ学校 — 小川北の小学校 —

上吉影・下吉影・野田の小学校の歴史を振り返る展示です。

会期 7月29日(土)~9月10日(日)

場所 小川資料館(小川図書館2階)

休館日 月曜日、9月1日(金)

※内容が変更となる場合があります。ご了承ください。

問い合わせ 小川図書館・資料館 ☎ 0299-58-5828